

絆 求 め て

11月16日発行

文責 私学振興専門員 久保田学



ご存じですか、信州幼児教育支援センター

「信州幼児教育支援センター」をご存じですか。このセンターは長野県教育委員会事務局学びの改革支援課という、少々堅い感じの課の中にあるセンターです。2019年4月に、幼稚園・保育所・認定こども園等の園種を超え、「笑顔かがやき、夢中になって遊ぶこども」の育成のための質の高い幼児教育の提供を目指し設立されたセンターです。例年、「信州幼児教育フィールド研修」と題して、学びの改革実践園での取り組みを通し、学び考え合う機会を提供しています。（本年度は、あそびの森あきわ、伊那市立竜東保育園、松本青い鳥幼稚園、須坂市立日野保育園、岩村田北保育園の5園が実践園になっています）おそらく、先生方の中でもこの研修に参加された方がいるのではないのでしょうか。実際に参加された先生からは、【「主体的」と一口に言っても先生によって捉え方は様々だし、子どもにとっても異なる。その中で「子どもの心が動いているか」という視点にハッとさせられました。先生はどのように見守る・主体性を引き出す環境を作っているのかということ、実際にビデオを通して見る事ができたのも良かった】などの感想が聞かれたそうです。（信州幼児教育支援センター運営会議資料より）その他にも、9月15日には、WEBで保育ドキュメンテーション等研修会が実施され、実際に取り組んでいる園の実践発表、発表者と参加者のクロストークが行われました。こちらに参加された先生がいたことと思います。

さて、コロナ禍にあり、公開保育など、他園での実践に学ぶ機会が減ってしまっている現状があります。各園では、園内研修を通し、職員相互の学び合いの機会を大切にし研修の工夫と充実を図っていると思います。しかし、自園を出て、他園での取り組みを見たり、他園の先生方と話したりすることで、自分とは異なった様々な考えにふれたり、自園には無い様々な取り組みを知ったりすることは、保育者としての保育観や教育観を深化させるチャンスです。

本協会でも、年間を通して様々な研修を実施しています。その中で受講者の皆さんからよく聞かれるのは、「研修には出たいけど、時間の余裕がない」「自分の空いた時間に研修が受けられたり、後で研修の内容を視聴することができたりするとありがたい」との声です。本年度の研修は感染予防対策からオンラインでの実施がほとんどです。オンライン研修では、講師の先生の許可が得られた場合は、研修後1週間程度ですが、クラウド上で視聴できるように対応してきました。

信州幼児教育支援センターでは、長野県学習支援ポータルサイト（まなびすけ信州）にセンターのページが開設されています。そこにアクセスすると、これまでの研修動画などが閲覧できるようになっています。下に、サイトの閲覧方法を載せましたので、アクセスしてみてください。

このサイトは、教職員向けの学習支援ポータルサイトです。閲覧したい情報をカテゴリから選択してください。

ログイン | 登録

電子ブック検索 search サイト内検索 search

初任研 2年次 キャリⅠ キャリⅡ キャリⅢ 教育課程 高校 学び課 総セ 休セ 教事 幼セ その他 マニュアル

トップページ >

最新情報

- 教育課程説明会の資料を掲載しました 2020-09-01

最新電子ブック

- 育成指標 (①自己実現) 幼児教育支援センター
- 研修動画 (総論編)

教育課程

I D ; manabi-youji
パスワード ; Kb1aFIQV
を入れ、ログインします。

「幼セ」をクリックすると、下のような画面がでできます。



トップページ > 幼セ >



「保育ドキュメンテーション」を選択すると、下のような画面が出てきます。9月15日の「保育ドキュメンテーション」の研修動画を視聴できます。



研修に直接参加しなくてもその研修の様子を視聴できることは、非常に有り難いことです。また、その動画を園内研修に生かすことで、園内の職員とテーマを決めて話し合いを行うこともできます。研修が単なる研修で終わるのではなく、実際の保育にどう生かすかが大切です。今回紹介した、信州幼児教育支援センターのサイトには、動画視聴（10分）→研修カード記入（5分）→テーマを決めてディスカッション（15分）計30分のミニ研修を支援する「オンライン講座」もあります。次号では、その事をお伝えします。（専門員）